

小金井市人口ビジョン(案)及び小金井市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案) 新旧対照表

No	項目	パブリックコメント等実施後(新)	パブリックコメント案(旧)	備考
1	第二部 人口ビジョン	<p>P.54 (1)将来展望 本市の将来人口は何も対策を講じなければ平成35年をピークに減少に転じ、2060年に99,800人になると推計しています。特に地域経済を支え、納税者ともなる生産年齢人口は、平成32年から減少局面に入るとともに、高齢化率も上昇を続けます。そのため、市民の生活を守り安定・発展させることに困難が伴う場合も想定されることです。</p>	—	会派からの意見等を踏まえ、将来展望の冒頭に危機意識に関する記述を追記
2	第二部 人口ビジョン	<p>P.54 (2)目指すべき方向性 視点1 小金井市の魅力の発信と人々の交流から移住・定住への誘引 みどりが多く、閑静な住宅街という小金井市の強みを周知するとともに、魅力ある地域産業を育て、豊かな自然の保全・活用により、まちの魅力を高めます。そして、市民の暮らしやすさをさらに向上させるとともに、市外から人を引き寄せ、まちの魅力を実感してもらうことを通じて、小金井市に住んでみたい・働いてみたいと思う人を増やし、長期的な視野に立って移住・定住へとつなげます。</p> <p>視点3 だれもが住み続けたいと思う安全・安心と自己充足の実現 子どもや子育て世代のみならず、高齢者も含めたあらゆる世代が、ソフト・ハードの両面で安全・安心な住環境のなかで、充実感を持ちながら暮らすことのできるまちを目指します。そのため、防犯・防災・健康・福祉はもとより、地域コミュニティの形成や生涯学習・市民協働などの観点から、若者と子育て世代・高齢者世代の交流を図ることなど、生きがいを感じることでできる機会提供を図ります。</p>	<p>P.54 (2)目指すべき方向性 視点1 小金井市の魅力の発信と人々の交流から移住・定住への誘引 みどりが多く、閑静な住宅街という小金井市の強みを周知するとともに、魅力ある地域産業を育てることで、まちの魅力を高めます。そして、市民の暮らしやすさをさらに向上させるとともに、市外から人を引き寄せ、まちの魅力を実感してもらうことを通じて、小金井市に住んでみたい・働いてみたいと思う人を増やし、長期的な視野に立って移住・定住へとつなげます。</p> <p>視点3 だれもが住み続けたいと思う安全・安心と自己充足の実現 子どもや子育て世代のみならず、高齢者も含めたあらゆる世代が、ソフト・ハードの両面で安全・安心な住環境のなかで、充実感を持ちながら暮らすことのできるまちを目指します。そのため、防犯・防災・健康・福祉はもとより、地域コミュニティの形成や生涯学習・市民協働などの観点から生きがいを感じることでできる機会提供を図ります。</p>	会派からの意見等を踏まえ、豊かな自然に関する記述、多世代交流に関する記述を追記

No	項目	パブリックコメント等実施後(新)	パブリックコメント案(旧)	備考
3	第三部 総合戦略	P.64「安全・安心でいきいきと学べる環境の確保及び就学機会の確保」	P.64「安全・安心でいきいきと学べる環境の確保」	会派からの意見等を踏まえ、奨学金制度等の就学機会確保に関する記述を追記
4	第三部 総合戦略	P.67「空き家対策等、防犯対策の推進」	—	会派からの意見等を踏まえ、空き家に関する記述を追記
5	第三部 総合戦略	P.72 1 推進体制 総合戦略は、市民・議会をはじめ、商工会などの産業界、大学、金融機関、労働関係団体など、幅広い分野から意見の聴取を図り策定してきました。総合戦略の施策の効果的な推進にあたっては、策定段階における連携を維持しつつ、さらに市民との協働を広げるとともに、取組に応じて産業・大学・金融などにおける幅広い分野での連携を図り、議会とも十分な審議に努めてまいります。」	P.72 1 推進体制 総合戦略は、市民をはじめ、商工会などの産業界、大学、金融機関、労働関係団体など、幅広い分野から意見の聴取を図り策定してきました。総合戦略の施策の効果的な推進にあたっては、策定段階における連携を維持しつつ、さらに市民との協働を広げるとともに、取組に応じて産業・大学・金融などにおける幅広い分野での連携を図ります。	会派からの意見等を踏まえ、議会との連携等について推進体制に追記